

＜先週の説教から＞

『ルカ61 — あなたの信仰があなたを救う』

武田真治牧師

士師記 18:5～6 ルカ福音書 7:49～8:3

イエス様が食事の席に着いておられた時に、ある一人の女性が近寄り、香油を注ぐという出来事は4つの福音書が記録していますが、各々の記録はかなり異なっています。どうしてそうなのかという理由は、何よりこの女性が一言も言葉を発していないからです。どうしてこのような事をしたのか、誰なのかも分からないのです。この福音書を集めたルカさんは、イエス様がこの女性の行動をととても褒められたことに重点を置いて書いています。そしてこのすぐ後に「(12弟子の他に) 何人かの婦人たちも一緒に奉仕していた」と報告されていますから、まさにイエス様がこの女性を評価されたように、他の女性たちの行為や奉仕を受け止められたことが、それまでの男性だけのユダヤ教信仰から、女性たちも活躍できるキリスト教の信仰へと変わって行ったことを証している出来事になっているのです(=それ故、後の初代教会では女性たちがおおきな役割を果たして行ったのだと！)。

今日の箇所の会話は先ずイエス様とシモンとの会話が始まり、長く続くのですが、ようやく最後にイエス様はこの女性に対して話しかけられています。それが48節の『あなたの罪は赦された』という言葉です。これはもう既にこの女性の癒しか悪霊払いを受けていましたから、改めて“あなたは私が赦す”と保証を与えられたのでしょうか。励ましの言葉であるとも言えます。そしてこのように仰ったもう一つの理由は周りの人たちへの宣言でもあったのでしょうか。“この人はもう罪赦されている”のだからそのように接しなさいと！故にこの言葉を聞いて「同席の人たちは『罪まで赦すこの人は、いったい何者だろう』と考え始めた。」のでした。

そして再びこの女性に『あなたの信仰があなたを救った。安心して行きなさい』と語り掛けられます。ただ、これはよく考えると不思議な言葉です。なぜなら、この女性を「救った」のはあくまでイエス様であり、イエス様の力が働いて「救

われた」のではないのでしょうか？ この女性が自分で自分を「救った」わけでは決してありません。なのに、どうして？ おそらくこう言われることで、その女性の力を敢えて認められて、これからの生き方に自信と励ましを与えようとしておられると言います。まさに『安心して行きなさい』と。

宗教改革者のルターは、この女性こそ教会＝信仰者の集まりの姿だと言われています。ここに集められ、ここでイエス様から“罪の赦し”の宣言を受け、み言葉と聖霊によって励まされて、各々の持ち場へと『安心して行きなさい』と祝福を受けて“派遣されて行く”のだと。これこそ“私たちのあるべき姿＝真の礼拝の在り方”ではないのでしょうか。

【今週の集会】

*聖書研究・祈禱会 I. 12月17日(水) 20:00
II. 12月18日(木) 10:30

聖書研究: ヨブ記

祈禱主題: クリスマスを覚えて

担当者: (水) TE (木) IM

祈りに覚える人: USさん UYさん

ハンナの会: 12月16日(火) 10:30～

【教勢報告】

主日礼拝 男15 女45 計60

祈禱会 I. 男3 女1 計4 II. 男1 女6 計7

日曜学校 幼稚科7 小中科6 計13

【次週礼拝】*クリスマス礼拝 12月21日(日)

聖書: イザヤ書 42:1～7

ヨハネによる福音書 3:16～21

説教: 「クリスマス礼拝—光に照らされてこそ」

武田真治牧師

讃美歌: 242(1～4)、247(1)、32、聖歌隊262、
271、261、256(1～2)、28(1)

【次週当番表】

司式: SM長老 奏楽: 礼拝: HS長老

配餐: IH IK IK KH各長老

受付: IY YS

会堂準備: KK KT TR NE

HH HH

看板: SC 週報: YS お花: IY

【次週集会予定】

礼拝前: ・聖書輪読会 ・求道者会

礼拝後: ・クリスマス愛餐会 ・幼稚園理事会

66-50

週報

2025年度 教会標語

「主につながり、根を張り、枝をひろげて」

2025年 12月 14日

日本キリスト教団 上尾合同教会

牧師 武田 真治

〒362-0041 上尾市富士見2-3-33

TEL&FAX 048-771-6549